

空の旅

須堂颯斗





漂う雲を見上げていたら、そのゆっくりとした穏やかな姿に心が和んだ。

風任せに生きてみる時があったっていい。

何事にもとらわれずにいられたら、もっともっと毎日を楽しめるのだから。

答えは一つじゃない。

これから出会ういくつもの光の中からあなたが選んでください。

スクランブル交差点



人の数だけ、数えきれないほどの人生がある。

その中で起こる出来事は、それぞれ内容も時間も全く違う。

早いとか遅いとか、長いとか短いとか、他人と決して比べないで。

違いを目の当たりにする機会があったら落ち込むのではなく、学ぶような気持ちでふれてみよう。
。



とても難しいことでもあるし、そうでないことでもある。

なぜなら、決して疑わない強い気持ちが必要だから。

しかし、それさえあれば他には何もいらぬだよね。

なかなかうまくいかないことは終わりではない。

あきらめた時が終わりなんだ。

信じて続けている限り、本当の終わりはこない。

乗り越える力



迷う時の不安。

悩むことの苦しみ。

孤独につきまとう寂しさ。

どれも辛い事だけれど、どれもあなたなら必ず乗り越えられることだ。

なぜなら、あなたの中にあるその力に気づくための出来事だから。

そうして自分を信じる大切さを知っていくことに生きてる意味があるんだと思うよ。

大切な人



友人はいても、そこまでの存在がないと嘆く前に、まずは自分が自身を深く理解できているか考えてみよう。

それほどまでに自ら人に心を開いているかを思い起こそう。

一生をかけても世の中全ての人と知り合う事は出来ないし、万人から好かれる事もまた難しい。

関係の深さにこだわらず、今そばにいてくれる人達を大切にしよう。

そうしたら自然と大切な人の存在に気づくだろう。

失敗



あえて人生の失敗になる事があるとすれば、見て見ぬふりをして何らかの機会を見逃した時だ。

間違いは過ちを繰り返さないための糧となる。

失敗なんかじゃない。

与えられた機会を見逃すほうが、はるかに失敗に近い。

起こる出来事には必ず意味があるから。

さあ、恐れずに人生をどんどん進もう。



自分を理解してもらえない時がある。

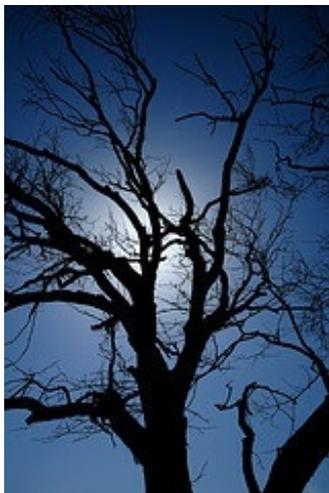
他人のことを理解出来ない時がある。

あなたはあなたで、他人は自分ではないのだから当然のこと。

まずはそのことを、自分自身をしっかり心に刻もう。

人との違いを受け入れることによって他人も理解できるようになる。

視線

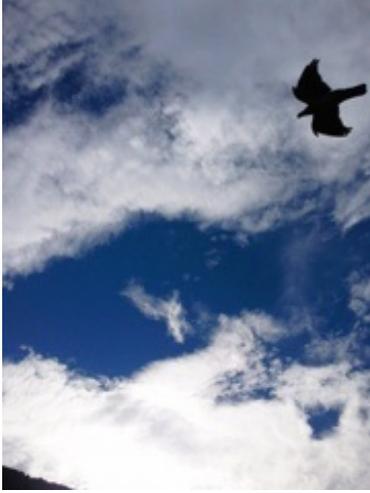


他人の視線が気になって仕方ないという人は多いかもしれない。

でも、きっとそれはあなたの冒険を制限し、人生から様々な経験を奪っていく。

他の誰かでなく、あなた自身の視界の中で生きてみよう。

いつか笑顔に会うために



傷ついたり、苦しいことがあると逃げ出したくなる。

でも、そんな自分を追いかけてあげて。

どんなに嫌がられても、泣かれても。

向き合わないと進めないから。

それが出来るのは、あなた自身だけなんだ。

涙



怖さに震える時、心の底から叫んで。

辛くて壊れそうな時、涙が止まるまで泣いて欲しい。

楽しい時は自然に笑うように、どんな感情もありのままに感じて良いんだ。

僕達はきっとそのために感情というものを与えられたのだから。

他人に涙なんて見せられないと思っているあなたも、自分自身にだけは正直でいてあげて欲しい。
。

その先にきっと救いの手が伸びている事を信じて。

空の旅

著者 : HAYATO

<http://hayato-sudo.cloud-line.com/>